

平成27年度 新発田・北蒲 道徳部 活動報告

部長 大井 栄子

1 研究主題

新しい道徳教育のあり方

2 研究の概要

<第1回部会> 役員・テーマ決め

<第2回部会> 講演会 「新しい道徳教育のあり方について」

講師 新潟市立早通南小学校 渡辺泰治 様

<第3回部会> 授業研究 「勇気を持って」～わたしにできること～【公平・公正】

授業者 新発田市立御免町小学校 須貝聡子 教諭（6年3組）

3 研究の実際

(1) 第2回部会 <講演会>

最初に、平成26年10月21日に中央教育審議会より出された「道徳に係る教育課程の改善等について」をもとに講義を受けた。道徳の授業は、そのねらいの達成に向けて、言語活動や多様な表現活動を通して、実際の体験を生かしながら、児童生徒に考えさせることが重要であることを再認識した。また、指導の重点化を図り、「心の活力＝自己開発力」を磨いていく学習活動を展開することが重要であることを学んだ。

その後、「多様な指導法の実践」を紹介していただいた。講師の授業実践から、実際の授業のDVDを視聴しながら6つの授業について講義を受け、資料の集め方や人とかかわる授業の進め方についてたくさんのことを学ぶことができた。

(2) 第3回部会 <授業研究>

同和教育の視点から「公平・公正」を主題とした公開授業と協議会を行った。

新発田市隣保館の指導員高橋加世子さんをゲストティチャーに招き、人とかかわり、人から学ぶ授業実践であった。

前日に行った「人権教育講話」から心に残ったことを短冊にまとめ、話し合うことから学習が始まった。児童の体験と照らし合わせながら、高橋さんに質問をする双方向のものであった。また、「高橋さんが自分のつらさと向き合いながらも、みんなに自らの体験を伝えようとしているのはどうしてだろう」とグループで考えさせたり、高橋さんからのメッセージ「わたしがこまっている時、声をかけてくれるあなたが大好き！」を紹介したりすることで、「なかまになっていく」「自分のこととして考え、つながる」ことの大切さを伝え、考えさせた授業であった。



【指導】

指導のねらいが明確になっている良い授業であった。差別やいじめにつながる根源を明確にしなければならない。また、良いことをするのも悪いことをするのも人間であるが、人間の弱さを自覚させ、自分の中の悪魔とどう戦わせるかを考え、授業構成することが重要である。

4 成果と課題

2回の部会の指導者を渡辺泰治先生にお願いし、豊富な授業実践と研究からたくさんのことを学ぶことができた。1回目の研修で学んだことを生かして「人とかかわる道徳教育」の授業公開を須貝教諭が実践し、関連した研修がなされた。